

ロータリー理解推進月間にあたって

パストガバナー

岩田 宙造 (大阪南RC)



ロータリー理解推進月間にあたり、最近のロータリーの話題について、簡単に紹介します。

●未来の夢計画(FVP) (1)

未来の夢とは、人道的プロジェクトや教育的プロジェクトを実施する地区やクラブをサポートするための、ロータリー財団の新しいモデルです。

さらに大きな成果をもたらす、一般の認知度を高めるためには、効率を高め、活動の焦点を絞る必要性が高まっています。2010年7月、100のロータリー地区が、3年間の試験段階への参加を開始しました。2013年7月から、世界の全地区に新モデルが適用されます。夢計画への参加に備えるための基本情報の一部を紹介しますと、財団は新地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラントの3種類を提供し、プロジェクトは6つの重点分野(1. 平和と紛争予防・紛争解決、2. 疾病予防と治療、3. 水と衛生設備、4. 母子の健康、5. 基本的教育と識字率向上、6. 経済と地域社会の発展)に特定され、具体的目標を目指したものとします。

新地区補助金は差し迫ったニーズへの取り組みを支援する比較的短期間のもの、グローバル補助金は1万5千~20万米ドルを支給して、長期的な視野から、大きな影響をもたらす活動で、持続可能、かつ成果が測定できるものとされています。

●2010年~2013年年度RI戦略計画 (2)

本質は地域の人々の生活を改善したいという情熱を、社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワークです。他者に奉仕し高潔性を

推進し、事業と専門職務、および地域社会のリーダー間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することが使命です。目標の優先項目は「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」、「公共イメージと認知度の向上」です。

中核となる価値観は、組織内においてロータリアンが何を優先させ、どのような行動をとるかという指針を含めた、組織文化の指導原理を表すもので、ロータリーの戦略計画においてますます重要性を増し、当組織のリーダーシップの意図と方向性を示す原動力となるものです。キーワードとしては1) 奉仕、2) 親睦、3) 多様性、4) 高潔性、5) リーダーシップで、これらは総べて、「ロータリーの綱領」と「四つのテスト」に反映されています。これらは人と人との関係における高潔さを養い、維持していくために、奉仕の理想を培い、支持するよう、私たちを鼓舞、激励するものです。

「RI戦略計画」は「未来の夢計画(FVP)」とともに、将来へ向けますます重要な活動指針となり、両者は、将来、機能的に統合され、統一化されていく」とのことです。

以上、最近のロータリーの話題について紹介し、皆様の活動に役に立つことを願っています。

参考文献

- (1)ロータリーの友、2012.vol.60. p41および、ロータリー情報誌、未来の夢、クイックガイド
- (2)RI戦略計画委員、南園義一氏の解説および2010-13年度RI戦略計画;ロータリーの友、2012. vol. 60. P12およびp14